



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊

あじenda 3 月

2009年



みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信

月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター2F 活動支援室内

TEL: 075-647-3535

FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

開室時間: 10時～18時45分(木・日休業)

アクセス: 京阪電車「藤森」西へ徒歩5分

地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分

市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ



京都環境コミュニティ活動(KESC)

自然エネルギー環境学習チームと交通環境学習チームが 小学校での出前環境学習を実施

フォーラムの京都環境コミュニティ活動プロジェクト(以下 KESC という)では、京都の小学校区を基本としたそれぞれの地域で、地域の事業者、学校、住民などの各主体が協力して、環境問題に取り組む仕組みづくりを目指しています。この度、KESC の自然エネルギー環境学習チームと交通環境学習チームが、小学校での出前環境学習を行いました。

初 南太秦小学校(交通環境学習チーム)

京都市立南太秦小学校では KESC の出前環境学習は初めてとなります。南太秦小学校区には、これまで公共交通が整備されておらず、昨年の市営地下鉄東西線の延伸にともない初めて市バス路線(70号系統)が開通した地域です。

交通環境学習チームが出前環境学習を実施し、事業者から環境にやさしい車の使い方や選び方を、また、京都市からは市バス・地下鉄の公共交通を整備する市の取り組みが紹介され、交通と地球温暖化について学びました。

授業終了後に、児童のグループのひとつが、事業者の皆さんを待ち構えてお礼を言ってくれた一幕もありました。既に地域においては、保護者による交通マップづくりが実施されるなど、交通をテーマにして学校・地域・事業者の連携への発展が期待できる出前環境学習を行うことが出来ました。



【写真】事業者からのメッセージ
「地域からはじめよう!人にも地球にもやさしい車の使い方!」

3年目 藤ノ森小学校(自然エネルギー環境学習チーム)

自然エネルギー環境学習チームによる、京都市立藤ノ森小学校での授業の実施は、今年で3年目となり、参加事業者の皆さんのスキルが大きく向上しています。メンバーは自然な笑顔で児童たちと接するようになり、授業で使う小道具も、より子どもたちの関心を惹きつけるように工夫されています。昨年に引き続き児童の保護者等にも見学していただきましたが、毎年見学に来られている方からは、「初めに比べて、内容も児童たちとの言葉のキャッチボールも更に上手くなった。児童が最初から最後まで集中していた」との感想をいただきました。



【写真】事業者からのメッセージ
「私たちの地域から地球にやさしい電気をふやそう!」

- テーマ 「地域で働く人達と『でんき』について考えよう」
- 日時 2009年2月6日(金)
9:45～10:30、11:00～11:45(各45分、2組に分けて実施)
- 実施小学校 京都市立藤ノ森小学校(伏見区)
- 対象 4年生約100名
- 授業実施者 KESC 自然エネルギー環境学習チーム
チームリーダー: 渡辺千裕(生田産機工業株式会社)
メンバー: 山沢邦良(株式会社エコロ21)、芝原直子(有限会社森田電設)、森田晋矢(有限会社森田電設)、坪内善男(京都市立洛陽工業高等学校)

● 地域との結びつきの一層の強化を

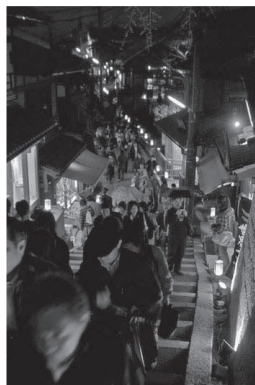
今後は、「参加事業者の職場に児童や保護者たちに社会見学に来てもらう」「保護者にも参加してもらう授業プログラムを考える」など、広く地域住民を巻き込む工夫を行っていくことで、地球温暖化を防止する地域づくりにつなげていくことが期待されます。

- テーマ 「地域で働く人達と『くるま』について考えよう」
- 日時 2009年2月20日(金) 10:40～12:10(90分授業)
- 実施小学校 京都市立南太秦小学校(右京区)
- 対象 5年生約60名
- 授業実施者 KESC 交通環境学習チーム
チームリーダー: 山沢邦良(株式会社エコロ21)
メンバー: 谷口 功(株式会社ホンダカーズ京都)、秦 ひとみ(株式会社ホンダカーズ京都)、松尾知恵(京都市社会福祉協議会)、坂下尚子(京都市環境局環境企画部環境管理課)、長屋博久(有限会社村田堂)
- コーディネーター 内田香奈(特定非営利活動法人環境市民)

ひろがる「京グリーン電力」の証書購入 3月の市内のイベントでも使用されます

2007年10月に創設された「京グリーン電力」の制度は、地球温暖化対策として、地産・地消による自然エネルギーの普及を目指した京都独自の仕組みです。おかげをもちまして、たいへん多くの事業者とイベント主催者に証書をご購入いただき、2008年度の受付は終了させていただきました。

2008年度も残すところ1ヶ月あまりですが、3月から4月にかけて右記のイベントで「京グリーン電力」が使われます。ご来場の折には、「京グリーン電力」マークにご注目ください。



【写真】東山花灯路

- 京都・東山花灯路 2009【3月13日(金)～22日(日)】
<http://www.hanatouro.jp/>
主催：京都・花灯路推進協議会
環境付加価値：11,000kWh 相当量
- 伝統産業の日 2009 ～ DO YOU 京もの?～
【2月1日(日)～3月31日(火)】
<http://www.city.kyoto.jp/sankan/densan/densannohi/>
主催：「伝統産業の日」実行委員会
環境付加価値：1,000kWh 相当量
- 二条城ライトアップ 2009【3月20日(金)～4月12日(日)】
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/nijojo/lightup2009.html>
主催：京都市
環境付加価値：12,000kWh 相当量
- 祇園白川宵桜・新橋花灯路 祇園白川桜ライトアップ
【3月27日(金)～4月5日(日)】
<http://gion-nawate.com/sakura/>
主催：祇園白川桜ライトアップ実行委員会
環境付加価値：1,400kWh 相当量

「バスと電車で eco グルメ!」3月31日まで ～バス・鉄道事業者の協力を得て広報中～

「バスと電車で eco グルメ!」は、「京都観光一日乗車券」「市バス専用一日乗車券カード」「スルッと KANSAI 3day チケット」など京都市内のバス・電車に一定期間何回でも利用できる条件が設定された乗車券を提示すると市内の複数の飲食店で飲食代金割引などの特典が受けられるサービスを通じて、脱温暖化に向けたマイカーから公共交通機関への利用転換を促す取組です。

取組の広報には、駅や車内でのポスターの掲出やパンフレットの設置といったかたちで、バス・鉄道事業者の多大な協力をいただいています。取組は3月31日まで実施していますので、ポスター・パンフレットやウェブサイトをご覧くださいの上、ぜひ特典サービスをご利用ください。



- 広報に協力いただいたバス・鉄道事業者
京都市交通局／京阪バス(株)／京福電気鉄道(株)
／阪急電鉄(株)／阪神電気鉄道(株)
※順不同(2月20日現在)

詳細はウェブページをご覧ください。
<http://ma21f.jp/eco-gourmet/>

醍醐コミュニティバス運行5周年 乗車200万人目前に

フォーラムが地元合意形成など立ち上げを支援し、全国初の「市民共同方式」のバス事業として、伏見区醍醐地域に醍醐コミュニティバスが運行を開始したのは2004年2月16日です。運行開始後は、運行主体である「醍醐コミュニティバス市民の会」の利用促進とパートナーズ(運行資金協力者)勧誘や、京都市やバス事業者(ヤサカバス)、地域の自治連合会・女性会・事業所などの支援があわさってコミュニティバスのサービスを地域に根付かせることができ、このほど運行5周年を迎えました。現在の1日の利用者数は約1400



【写真】醍醐コミュニティバス
4号路線

人で、5年間の利用者総数は190万人を超え、まもなく200万人に達する見込みです。2月15日には、京都市醍醐交流会館において、門川大作京都市長などの臨席のもとで記念式典が開催されました。

醍醐コミュニティバスには、運行開始以来、100箇所を超える全国各地域からの視察訪問があったそうですが、全国的にみても「市民共同方式」で醍醐のあとに続く公共交通サービスの事例は生まれていません。それだけ難しいことを実現しているといえる醍醐コミュニティバスですが、醍醐地域を訪れる際には、積極的にご利用いただければと思います。運賃は大人1乗車が200円、一日乗車券は300円です。



【写真】運行5周年記念式典で
祝辞を述べる門川大作京都市長

2月には、フォーラム事務局職員への講師やコーディネーターの依頼がいくつかありました。大阪や金沢など他都市で活動する団体から依頼があり、議定書のまち・京都の取組は注目されているようです。また、事務局職員として働くこと自体に焦点をあてた、普段の講師依頼とは視点の違うセミナーもありました。今後もこのような交流を行い、情報収集・発信を進めて、フォーラムの活動に反映していきたいと考えています。

2月6日(金)「ESTの未来をひらくパネルディスカッション」

主催：財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)

<http://www.aozora.or.jp/>

会場：大阪市立総合生涯学習センター

参加者：50名

対応職員：長谷川

ESTとは「環境に配慮した持続可能な交通」という意味の略語です。このESTをテーマとしたパネルディスカッションは、環境省の低炭素地域づくりモデル事業の一環で開催されました。会場には京都・大阪・兵庫の交通事業者や自治体、またバスの利用促進など交通分野の取組を積極的に推進しているNPOなどから約50名が集まり、講師やパネリストとともに、主に都市域を対象に、地域におけるESTの実現に向けた取組について意見交換しました。フォーラムからは、これまでの交通分野の取組の中から、醍醐コミュニティバスの立ち上げ支援、京都市の「歩いて楽しいまちなか戦略」への参画、公共交通利用促進の取組「バスと電車でecoグルメ!」の3つを紹介しました。このようなことができた取組推進体制について会場から質問があり、フォーラムの組織の特徴である行政・民間・大学など立場の異なる主体がパートナーシップを形成して取り組む進め方を紹介しました。

2月7日(土)

「NPO・NGOでのキャリアデザインを考えるセミナー」

主催：NPO法人ユースビジョン <http://www.youthvision.jp/>

会場：キャンパスプラザ京都

参加者：50名

対応職員：竹村

「社会を変える仕事に出会う」をテーマとして、大学生や社会人で NPO・NGO への就職を希望する人たちを対象にし、NPO・NGO で働くことの現状を紹介するセミナーが京都市内で開催されました。セミナーのメイ

ンとなるトークセッションにおいて、NPO・NGO で活躍するスタッフの一人として、フォーラム事務局での日々の仕事内容、さまざまな主体が集まってできるパートナーシップでの事業推進を支援するという、当フォーラムの事務局コーディネーターという仕事の持つ魅力ややりがい、また、仕事の中での苦労などを紹介しました。続いて、ブースを設けての個別的な質疑応答の時間が取られ、他の NPO・NGO と並んで、参加者からの個別具体的な質問に答えました。

2月14日(土)「ネットワークを活性化する秘訣～官・民・産・学一体のネットワークをめざして～」

主催：金沢エコライフ・ワーキングネット

<http://kanazawa-econet.main.jp/>

会場：石川県女性センター

参加者：30名

対応職員：西本

金沢市において地球温暖化防止や自然環境保全に関する講座の実施、環境教育のための人材の養成、環境団体間の連携などの活動を行っている市民団体「金沢エコライフ・ワーキングネット(略称：エコネット)」が主催する学習会の講師に招かれました。テーマは標題のとおり環境団体間のネットワークの活性化で、パートナーシップで事業を行う当フォーラムの活動形態を大いに参考にしたいとのことでした。ちなみに設立 3 周年を迎えるエコネットは、これまでに数回、当フォーラムを視察に訪れています。当日は、日頃、みずから環境活動を主宰するメンバーが多数参加し、当フォーラムの「KESC」や「京グリーン電力制度」などの創設から運用に至るまでの経緯や、活動に際しての成果や課題の紹介を受け、活発な意見交換が行われました。

■ その他の事務局の動き(1月16日～2月15日)

1月 16日(金) フォーラム設立10周年記念イベント

21日(水) 京都GPN普及部会

27日(火) 向島保育園おひさま発電所点灯式

京都GPN幹事会

カーボンオフセットセミナー

2月 2日(月) 自然エネルギーWG運営会議

KESC風チーム会議

3日(火) 京エコロジーセンターKES実行責任者研修

4日(水) 佛教大学学生訪問対応

くらしの匠事業運営会議

6日(金) KESC風チームモデル授業

ESTパネルディスカッション

京グリーン電力龍谷大学打合せ

7日(土) NPO・NGOのキャリアデザインを考えるセミナー

9日(月) 京都GPN打合せ

10日(火) 京エコロジーセンターKES一般研修

12日(木) 低炭素社会を実現する交通のあり方を考える協議会

13日(金) 醍醐コミュニティバス運行管理委員会

向島保育園報告会打合せ

えこまつりWG運営会議

14日(土) 京都議定書バースデーウォーク

金沢エコライフワーキングネット学習会

15日(日) 京野菜を食べよう(地産地消)イベント

醍醐コミュニティバス5周年記念イベント

「家庭の省エネ相談所」、どんどん開設しています。 ～ご家庭の光熱費のムダを見つけます～

フォーラムでは今年度、「家庭の省エネ相談所」を京都市内で25回開設し、1000名の市民に受けていただくことを目標としています。

「家庭の省エネ相談所」とは、市民の皆さんに、日々の暮らしに関するアンケートに記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、それをもとに、省エネの知識のある「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスを行うというものです。

昨年から今年にかけて、「省エネ普及ネット・京都」の協力を得て、市内の区役所、商業施設、イベントで22回開設し、869名の市民に受けていただきました。

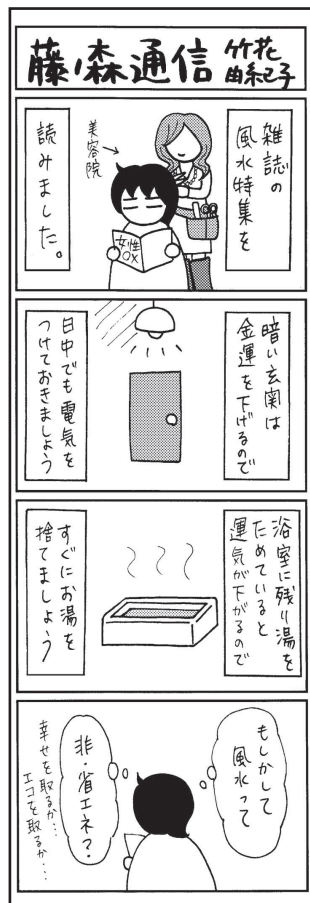
今後の開設予定

3月16日(月) 10時～14時

伏見区役所・洛西支所

3月17日(火) 10時～14時

西京区役所・深草支所・醍醐支所
年間の電気代、ガス代、灯油代、ガソリン代が分かるもの(明細書、家計簿等)をお持ちの上、ぜひお立ち寄りください。



12月16日 山科区役所 21名



12月13・14日
京都環境フェスティバル2008 227名



12月16日 上京区役所 29名



2月16日 中京区役所 15名



2月16日 東山区役所 26名



2月16日 コープ二条駅 14名



2月17日 下京区役所 30名



2月17日 南区役所 24名



2月17日 右京区役所 26名

事務局短信

今月号では各地のセミナーに参加した事務局スタッフの報告を特集しました。遅れている国の地球温暖化対策と対照的に積極的な活動をしている全国各地の環境団体との情報交換の場は、日々の活動を振り返る良い機会となります。(西本雅則)／暖冬ですね。今シーズン、我が家はこたつを出さずに冬を越しそうです。エアコンも数えるほどしかつけていないので、いまだ冬になった実感が得られないまま。農作物に影響がないとよいのですが…。(竹村光世)／先日行われた「第12回 京都駅ビル階段駆け上がり大会」で、京エコロジーセンター、京都市ごみ減量推進会議、京のアジェンダ21フォーラムから成る「エコ連」チームが優勝しました。ちなみに、このチームが出場した特別レースでは、速さではなく、試合終了後の息の中のCO2の割合の少なさが競われました。さすが「エコ連」! (小山直美)／花粉症の季節がやってきました。昨シーズンから半信半疑で始めましたが、花粉が飛んでいるあいだだけでも肉食を控えるとアレルギー性の鼻炎の症状が軽くなるようです。(長谷川吉典)／“多い”“非常に多い”……毎日の花粉情報にははらされている人も多いと思います。地球上の生き物、人間だけではないのですね。(小西賢人)